

DMP ホワイト ペーパー

1. プロジェクトのミッションとビジョン

DMP(Digital Monetary Protocol)は、グローバルでオープンで完全に分散化されたデジタルバリュープロトコルネットワークの構築に取り組んでいます。このネットワークは、国、機関、または法定通貨のアンカリングメカニズムに依存せず、世界中のユーザーが共同で参加し維持するデジタル価値システムを確立することを目指しています。DMP は、公正な参加を促進し、中央集権的な操作に抵抗し、検証可能なデフレモデルを構築することで、世界のデジタル経済における将来の協力のためのインフラとなることを目指しています。

2. 背景:暗号金融における 4 つの主要な構造的問題

1. ステ이블コインの中央集権化リスク:主流のステ이블コインは、中央集権的な不換紙幣準備に依存しており、規制凍結、清算リスク、信用崩壊の影響を受けやすいです。
2. 主流の通貨価格は急激に変動します:BTC、ETH などは安定したアンカリングメカニズムを欠いているため、価値スケールや支払い手段の機能を担うことは困難です。
3. マイニングとガバナンスの一元化:PoW/PoS モデルはリソースを収集し、大規模なユーザーがネットワークを制御するため、小規模なユーザーが効果的に参加することは困難です。
4. DAO の失敗とガバナンスのアイドリリング:ほとんどの DAO は、検証可能なアイデンティティと分散型の参加基盤を欠いており、ガバナンスは資本による形式的なものや操作に還元されやすいです。

3. 契約設計の基本原則

原理	コンテンツの説明
-----------	-----------------

分散型マイニング	すべてのユーザーは、クライアントをインストールしなくても、Webブラウザを介してデバイスのコンピューティングパワーに公正に参加できます
市場での自由為替レート	不法定通貨に固定されておらず、通貨の価値は市場の取引ペアと需要と供給の関係によって決まります
デフレ価値メカニズム	総額は 1 億 2,000 万を上限とし、2 年ごとに生産量を減らし、手数料を廃止して希少性を確保しています
検閲への抵抗と開放性	実名登録は不要で、オンチェーンルールが自動的に実行され、世界中のユーザーが自由に参加できます
権力離脱のガバナンス	非資本型ガバナンス代表制の構築と、一人一票制の採用

第四に、発行メカニズムと経済モデル

- 総供給量:120,000,000 DMP(発行されません)。
- 割り当て構造:
 - 鉱業生産高とコミュニティインセンティブ: 60%
 - チーム保有:20%(60 か月の線形権利確定)。
 - 戦略的協力とエコロジー:10%。
 - 財団準備金および市場インセンティブ:10%
- デフレと破壊のメカニズム:
 - 2 年ごとに生産量を 30%削減

- すべてのオンチェーン取引が実行されると、0.5%の手数料が自動的に請求され、そのうち 40%がバーンされ、60%がエコロジカルファンドに送られます
- 最終的なバーンは、総発行量の 50%を上限としています

5.ブラウザのマイニングメカニズムと 3 段階のテストロジック

フェーズ 1: 初期テストネット フェーズ (2025 年 8 月)。

- 専用のテストチェーンを開始し、完全なコントラクトアーキテクチャをデプロイして、各コア機能を検証します。
- マイニングメカニズム、計算能力評価、転送ロジック、オンチェーンインタラクションに関する包括的なテストを実施します。
- デバイスの識別と不正防止および制御ルールを同期的に検証し、マルチデバイスシナリオでストレステストを実施します。
- テストチェーンは、DMP(非公式メインネットトークン)のベータ版を生成し、マイニングおよび転送機能をテストするために使用されます。通貨はテストチェーンに記録され、経済的価値はなく、すべてのユーザーが参加できます。
- パフォーマンスのフィードバックを収集し、契約の脆弱性を修正し、さまざまなコンピューティングパワーデバイスモデルのパフォーマンスを評価し、エムロニウム生産の次の段階に備えます。

フェーズ 2: テストネット シミュレーション マイニング (2025 年 10 月)。

- パブリックベータ版を開始し、すべてのユーザーが参加できるようにブラウザマイニングの入り口を開きました。
- DMP-Mem テスト記念コイン 100 枚を発行(80 コインはコミュニティによって採掘され、10 コインはチームによって保持され、5 コインは市場流動性と初期であり、5 コインは後で宝物としてメインネットユーザーに配布されます)。

- DMP-Mem は、初期価格が $1 \text{ DMPM} = 1 \text{ USDT}$ で、流動性と実際の経済的価値を備えたメインネットの実際の取引ペアに接続されますが、メインネット DMP との相互運用や交換はできません。
- 記念コインはメインネット DMP と交換することはできませんが、記念バウチャー、エアドロップへの参加、DAO 投票、その他のエコロジカルパスとして使用できます。

フェーズ 3:メインネットマイニング(2025 年 11 月)。

- メインネットコントラクトがデプロイされると、実際の DMP 発行ロジックが正式に開始されます。
- デフレ出力モデルと取引手数料燃焼メカニズムを同時に開始します。
- ガバナンスのウォームアップ段階に入り、最初の会議と地域ガバナンスメカニズムに備えます。
- 公式の契約ロジックに従ってメインネット DMP トークンの発行を開始します。
- デフレモデルと手数料バーニングメカニズムが正式に開始されました。

6. DMP 為替レートメカニズムと資産ポジショニング

DMP は 米ドルや中央集権的な通貨に固定されておらず、その価値は分散型市場メカニズムによって自由に価格設定され、次の方法で流通および認識されます。

- 主要な分散型資産(ETH、USDT、BTC など)と取引ペアを形成して、流動性と市場価格発見の基礎を取得します。
- エコシステム内の実質需要は、価値の降水量を促進します(例:ステーキング、支払い、投票、決済など)。
- 将来的には、マルチチェーンネットワークのクロスチェーンブリッジプロトコルのコアアンカーアセットの役割を果たすことになります。

DMP は、中央集権的な機関のコミットメントに依存せず、単一通貨の変動の影響を受けず、その価値の道筋は使用需要と供給および需要のダイナミクスによって決定され、長期的に信頼できるデジタル資産システムを構築します。

7. ガバナンスアーキテクチャ

7.1 ネットワークパーティション表現メカニズム(2028 年以降)

- すべてのアクティブなアカウントは、アルゴリズムによってランダムに固定パーティション(50 など)に分割されます。
- 各地区のコミュニティユーザーによって 3 人の代表者が選出され、「DMP グローバル投資家会議」と将来のガバナンスメカニズムに参加して代表者会議を形成します。

7.2 投票とガバナンスの執行構造

- DMP Global Investor Conference は 4 年ごとに開催されます。
- ガバナンス実施チームの 5 人のメンバーに投票して、非基本的な提案に対処します。
- すべての代議員候補者の住所は、オープンで透明性があり、コミュニティのレビューの対象となる必要があります。

7.3 資本化操作メカニズム

- ガバナンスは「一人一票」メカニズムを採用していますが、これは保有するコインの数とは関係ありません。
- 大規模なアカウントと関連取引を行っているウォレットは、政治権力への参加を失います。
- コミュニティの透明性のあるレビューの後、関連する操作行為があることが確認された場合、そのアドレスはガバナンスへの参加が制限されます。

8. ロードマップ(2025–2035)。

年 キー・ノード

公式サイトが開設され、DMP-Mem 記念コインが展開され取引が開始され、
2025- メインネット契約が展開され、公式マイニングが開始され、デフレメカニズム
2027 が開始され、破壊メカニズムが開始され、取引手数料がエコロジカルファンド
に返還されました

2028 ネットワーク パーティション ガバナンス メカニズムが開始され、第 1 回
DMP Global Investor Conference が開催されました

2029 ガバナンスシステムがアップグレードされ、開発者 SDK と API インターフェ
ースが完全にオープンになりました

2030- 多言語コミュニティシステムが開始され、モバイルコンピューティング能力の
2031 適応が完了し、エコロジカルプロジェクトが開始されました

2032- コンプライアンスと監査のフレームワーク、透明性のあるガバナンス、提案追
2033 跡ツールに関する研究が開始されました

2034- クロスチェーンプロトコルの展開を実現すると、DMP はマルチチェーン金融
2035+ エコシステムの中核となり、モジュラーガバナンスシステムの構築を完了しま
す

9. セキュリティアーキテクチャとオープンな拡張

- すべてのコア契約は完全にオープンソースであり、GitHub コミュニティのレビューの対象となります。
- 契約アップグレードのタイムロック遅延ウィンドウを設定します (デフォルトでは 48 時間)。
- L2 および zk ネットワークをサポートし、モバイルデバイスの WebGPU マイニング環境と互換性があります。

- オープンな開発インターフェースとモジュール式の建設ツールキットを提供して、外部のエコロジカルプロジェクトのドッキングを促進します。

10. 2035 年ビジョンシナリオ

2035 年までに、A 国の学生はタブレットを介してライトマイニングに参加し、1 年後に獲得した DMP を使用してオンラインコースの費用を支払うことになります。彼はコミュニティの代表として 1 票を投じ、ゾーン B と C の代表者とともに、物議を醸すエコ予算案を否決した。その過程で、DMP は価値と音の架け橋となります。

同年、D 国の地域コミュニティは、DMP を通じて独自の現地決済システムを構築し、地元のベンダーは現金取引に頼る必要がなくなり、代わりにモバイルデバイスでコードをスキャンしてピアツーピア送金を完了しました。コミュニティの代表者は、年間生態学的予算の提案に参加し、きれいな水開発基金を申請しました。

2035 年末、E 国の独立系開発者は、自身が構築した DMP ガバナンス追跡可視化ツールに対して、コミュニティファンドからエコロジーインセンティブを受けました。彼のオープンソースプロジェクトは、いくつかのエコロジカル DAO に採用され、DMP はいくつかのクロスチェーンブリッジプロジェクトのデフォルトのガバナンストークンになりました。

11. FAQ とリスク警告

Q1: DMP プロジェクトが直面している課題は何ですか？

- 規制の不確実性:国によって規制政策が異なると、世界のユーザー獲得や取引に影響を与える可能性があります。
- 技術的なセキュリティ:契約の脆弱性や悪意のある攻撃は、コミュニティのレビューと Timelock メカニズムを通じて防ぐ必要があります。
- 市場競争の圧力:ユーザーとコンピューティングリソースをめぐって競合する同様のプロジェクトに直面して、エクスペリエンスとインセンティブメカニズムを継続的に最適化する必要があります。

Q2:投資家はどのようにして DMP に参加できますか？

- 初期の DMP 配布は、ブラウザマイニングを通じて公正に取得できます。
- 将来的には、DMP 取引、コミュニティガバナンス投票、流動性提供などに参加できます。
- コミュニティはオープンで、開発者やエコシステムプロジェクトも建設に参加できます。

Q3:なぜ法定通貨をペッグしないのですか？

- 中央集権的な準備金や規制管理の影響を受けないようにします。
- デジタル経済のための真に独立した価格設定単位を構築します。
- オンチェーンエコシステムとのネイティブな一貫性を維持します。

Q4:なぜ従来のマイニングリグの代わりにブラウザマイニングを使用するのですか？

- 参加のしきい値を下げ、携帯電話やタブレットなどの軽量デバイスをサポートします。
- コンピューティングパワーの集中を避けるために、世界中の一般ユーザーの参加を奨励します。
- プロジェクトの分散型の精神に沿っています。

XII. まとめ

DMP はデジタル通貨であるだけでなく、将来のグローバルなデジタルクレジットコラボレーションの基本プロトコルでもあります。それは古いシステムに対する敵対者ではなく、新しい秩序のコンセンサスの礎石です。真に公正で分散型、かつ持続可能な価値ネットワークは、ここからスタートすると考えています。

DMP – 将来のデジタル経済におけるグローバルなコンセンサスのためのアンカー。